

2026 年 10 月 5 日

2027 ジャパンパラゴールボール競技大会
撮影・ウェブ配信・情報保障等業務の委託先選定に関する仕様書

1. 業務概要

(1)業務名

2027 ジャパンパラゴールボール競技大会 撮影・ウェブ配信・情報保障等業務

(2)大会名称

2027 ジャパンパラゴールボール競技大会

(3)大会期間

2027 年 1 月 30 日(土)～31 日(日)

・設営日:2027 年 1 月 28 日(木)

・公式練習日:2027 年 1 月 29 日(金)

・大会日:2027 年 1 月 30 日(土)～31 日(日)

・撤去日:2027 年 1 月31 日(日)大会終了後予定

※大会終了後、速やかに撤去作業を開始するものとする。ただし、施設利用条件等により翌日撤去となる場合は、JPSA と協議のうえ決定する。

(4)会場

北九州市立総合体育館（福岡県北九州市八幡東区八王寺町 4-1）

<https://www.kitakyu-sports.jp/intro/>

(5)主催等

主催:公益財団法人日本パラスポーツ協会(以下「JPSA」という。)

共催:一般社団法人日本ゴールボール協会(以下「JGBA」という。)

2. 目的

本大会は、国際競技規則を適用した高水準の競技大会を実施することで、競技力向上及びゴールボール競技の普及拡大を図るとともに、パラスポーツの認知向上及びファン拡大を目的として開催する。

本業務は、大会における撮影、映像制作、ウェブ配信、情報保障等の一連の業務を適切に実施するとともに、ゴールボール競技特有の魅力や戦術性を広く発信し、大会価値の向上及び競技普及につなげることを目的とする。

3. 仕様

以下に関する企画提案、制作、実施及び運営等を行うこと。

なお、JPSA 及び JGBA が保有する有形無形の資産については最大限活用すること。

(1)撮影・映像制作

① 撮影業務

以下を想定した競技撮影を行うこと。

- 競技全景
- 攻守状況が分かる映像
- ベンチエリア
- 表彰式

- 閉会式
- インタビュー
- 会場内の観客・演出

なお、具体的な撮影構成、カメラ台数、配置及び演出内容については提案事項とする。

② 映像制作・演出

以下の業務を行うこと。

- 撮影機材及び関連機材の手配
- 映像スイッチング
- テロップ、スーパー、競技情報表示等の制作
- 試合情報及びスコア表示
- 録画映像制作
- オープニングアテンション映像(アタック映像)の制作
- 配信用フリー音源手配
- 必要に応じた映像編集(スロー・リプレイ・ハイライト映像 など)

また、初めてゴールボール競技を視聴する者にも競技内容や魅力が伝わる映像構成を提案すること。

③ オープニングアテンション映像(アタック映像)

大会広報及び集客促進を目的とした PR 映像を制作すること。

なお、以下を基本要件として含むこと。

- 大会名称
- 日程及び会場名称
- ジャパンパラ競技大会ロゴ
- JPSA が指定する大会キービジュアル又はキーコメント
- 競技特性を表現する映像及び音響演出
- 会場写真又は競技映像等※を活用した構成
- 国際大会水準の競技大会に相応しい BGM 及び演出

映像尺は 30 秒程度を想定する。

※使用素材については、JPSA 又は NF より提供する場合がある。

なお、詳細構成、演出内容及び修正回数等については契約後協議のうえ決定する。

④ アクセシビリティ及び情報保障

映像制作にあたっては、障がいの有無に関わらず多様な視聴者が大会を楽しめる情報提供を行うこと。

以下について提案すること。

- 字幕対応
- 分かりやすい情報表示
- 色覚多様性への配慮
- 視覚障がい者への情報提供
- 音声情報保障サービス活用
- 会場観戦者向け情報提供

また、ゴールボール競技において重要となるボール音、選手のコール、審判の判定音等が明瞭に聞こえるよう音声制作を行うこと。

⑤ 安全管理及び静寂環境への配慮

ゴールボール競技は競技中の静寂環境が重要であることから、撮影スタッフの動線、機材配置、通信機器及び機材操作音等が競技進行に影響を及ぼさないよう十分配慮すること。

(2)実況・解説体制

実況・解説については、競技ルールや選手の特徴を理解し、初心者にも分かりやすく競技の魅力を伝えられる体制を構築すること。

実況担当者候補については事前に JPSSA へ提示し、承認を得ること。

(3)ウェブ配信業務

① 配信対象

配信対象は原則として以下を想定する。

- ・競技(全試合)
- ・表彰式
- ・閉会式

詳細については JPSSA と協議のうえ決定する。

② 配信プラットフォーム

配信先プラットフォームは YouTube を想定する。

配信アカウントは JPSSA が指定するものを使用すること。

[公益財団法人 日本パラスポーツ協会 - YouTube](#)

③ 配信運営

以下を実施すること。

- ・チャンネル作成
- ・サムネイルの作成
- ・配信設定
- ・配信監視
- ・回線監視
- ・アーカイブ保存対応

④ 回線

配信に必要なインターネット回線については、原則として委託事業者が準備すること。

なお、以下を想定する。

- ・配信用本回線:1 回線
- ・配信用予備回線:1 回線
- ・報道控室用回線:1 回線

報道控室については、無線 LAN 環境を構築すること。

⑤ 音声

実況、解説及び場内音声等を適切にミキシングし、配信用音声として配信すること。

なお、解説者については NF が手配する場合があるため、連携して業務を行うこと。

⑥ リハーサル

大会前日までに、映像・音声・配信・回線・表示確認等を含む配信リハーサルを実施すること。

⑦ 視聴者拡大に向けた提案

以下について積極的な提案を求める。

- ・SNS 連携
- ・大会前後の情報発信
- ・短尺動画制作
- ・アーカイブ活用
- ・視聴促進施策

(4)情報保障・アクセシビリティ対応

ゴールボール競技は、視覚障がい者を含む選手が参加する競技であり、また音情報が競技理解に重要な役割を果たすことから、多様な観戦者が大会を楽しめる情報提供環境を整備すること。

①会場内音声情報提供

以下を実施する。

- ・実況、解説音声のリアルタイム配信
- ・スマートフォン等による聴取環境提供
- ・利用方法案内
- ・必要に応じたイヤホン貸出

※音声配信サービスについては、PlatCast 等同等以上の機能を有するサービスも可とする。

(5)大会終了後の映像資産化

受託者は、大会終了後の広報・普及活動に活用できるよう、以下を提案すること。

- ・ハイライト映像
- ・SNS 掲載用短尺動画
- ・選手紹介素材
- ・競技普及用素材
- ・JPSA 公式媒体での活用を想定した編集素材

(6)リスク管理・配信品質管理

受託者は、安定した映像配信を実施するため、以下について事前に計画し、対応すること。

- ・通信障害発生時の代替手段
- ・機材故障時のバックアップ体制
- ・停電等発生時の対応
- ・競技進行変更時の映像対応
- ・配信品質確認方法

また、大会前に配信リハーサルまたは接続テストを実施し、その結果を JPSA へ報告すること。

5. 事前準備・打合せ

以下を実施すること。

- ・JPSA との事前打合せ
- ・JGBA との競技内容確認
- ・会場下見
- ・撮影位置確認
- ・機材配置確認

- ・配信テスト
- ・情報保障方法確認

打合せ内容については議事録を作成し、実施後 5 営業日以内に JPSA へ提出すること。

6. 成果物

大会終了後2週間以内に以下を提出すること。

①映像データ

- ・配信映像データ
- ・アーカイブ映像
- ・クリーン映像
- ・生データ

②広報活用素材

- ・SNS 掲載用動画素材
- ・大会 PR 素材
- ・選手紹介素材
- ・二次利用可能な映像データ

③報告資料

- ・実施報告書
- ・配信実績
- ・視聴実績
- ・課題および改善提案

7. 運営体制

受託者は、本業務を円滑かつ安定的に遂行するため、以下の業務体制を構築すること。

- ・総括責任者 1 名以上
- ・映像制作責任者 1 名以上
- ・撮影担当者
- ・映像スイッチング担当者
- ・配信管理担当者
- ・音声・実況管理担当者
- ・情報保障対応担当者
- ・その他、本業務遂行に必要な担当者

なお、担当者の役割分担および配置については、企画提案書に明記すること。

大会期間中は、競技開始前の準備時間から競技終了後の撤収完了まで、責任者が常時連絡可能な体制を構築すること。

また、JPSA、JGBA、競技運営担当者、施設管理者等と十分な連携を図り、以下の事象が発生した場合にも迅速な対応が可能な体制を整備すること。

- ・配信停止、通信障害等の発生
- ・撮影機材、配信機器等のトラブル
- ・競技進行変更への対応
- ・情報保障サービスに関する不具合対応

8. 留意事項

- (1)本業務に係る費用については、必要な経費を十分精査したうえで積算すること。なお、予期せぬ機材故障、通信障害、追加対応等に備え、予備的な対応費用を全体金額の10%程度見込むことを推奨する。
- (2)撮影・配信・情報保障業務に必要となる撮影機材、配信機材、通信環境、システム利用料、人員配置等については、原則として受託者の責任において手配すること。
- (3)会場の電源、通信設備等を使用する場合は、事前に JPSA および施設管理者と十分な確認・調整を行うこと。
- (4)追加で必要となる電源設備、通信機器、機材、備品等については、受託者の責任において準備すること。
- (5)本業務に必要となる以下の経費は、契約金額に含むものとする。
 - ・撮影機材費
 - ・映像制作費
 - ・配信システム利用費
 - ・通信回線費
 - ・情報保障サービス利用費
 - ・機材運搬費
 - ・設営・撤去費
 - ・スタッフ人件費
 - ・その他、本業務遂行に必要となる経費
- (6)本大会に関連する他事業者(大会運営担当者、競技団体、施設管理者、広報担当者等)と十分連携し、円滑な業務遂行を図ること。
- (7)受託者のスタッフに対する昼食・飲料等の支給は行わない。
- (8)選手、関係者、観客等に関する個人情報、肖像情報等については、関係法令および JPSA の指示に従い適切に管理すること。
- (9)本仕様書に定めのない事項または業務遂行上疑義が生じた場合は、JPSA と協議のうえ決定すること。
- (10)大会運営上必要となる軽微な変更、調整については、JPSA と協議のうえ柔軟に対応すること。
- (11)大会期間中は、選手の競技環境および安全確保を最優先とし、撮影位置、機材配置、スタッフ動線等について必要に応じて変更・調整すること。
- (12)ゴールボール競技は競技中の静寂環境が重要であるため、撮影スタッフの動線、機材操作音、通信機器等が競技進行に影響を及ぼさないよう十分配慮すること。
- (13)配信環境については、通信障害、機材トラブル等を想定した事前検証を行い、復旧手順および代替対応方法を整理すること。
- (14)制作した映像素材については、JPSA による大会後の広報、普及啓発、SNS 発信、教育活動等への活用を想定し、適切な品質管理およびデータ管理を行うこと。
- (15)2026 年 11 月 13 日～15 日、本大会の会場となる北九州市立総合体育館にて「車いすバスケフェスタ北九州 2026」が開催される。本大会運営の参考となることから、必要に応じて現地視察を実施することが望ましい。なお、視察は必須ではないが、実施する場合は必要経費を見積に含めること。
- (16)(15)のイベント含め、北九州市におけるパラスポーツイベント等実施経費として、50 万円(税込)を見込むこと。実施内容は JPSA との協議により決定する。(事前の大会告知映像の制作 など)

9. 権利関係

- (1)本業務により制作された映像、編集素材、画像、音声その他成果物に係る利用権は、JPSA に帰属するものとする。

- (2)成果物が著作物に該当する場合、その著作権その他必要な権利については、成果物引渡し時にJPSAへ無償譲渡または利用許諾するものとする。
- (3)受託者は、第三者の著作権、肖像権、商標権その他知的財産権等を侵害しないよう十分確認すること。
- (4)第三者が権利を有する素材(音楽、映像、画像、システム等)を使用する場合は、受託者の責任および費用負担により必要な許諾を得ること。
- (5)受託者が制作した映像素材等については、JPSA が公式ウェブサイト、SNS、広報媒体、普及啓発活動等において利用できるものとする。

10. 契約期間

契約締結日から 2027 年 2 月 26 日(金)まで

11. 競争参加資格

以下全てを満たす者であること。

- (1)予算決算および会計令第 70 条および第 71 条に該当しない者。
- (2)法人税、消費税および地方消費税に未納がない者。
- (3)各省庁、自治体等から指名停止等を受けていない者。
- (4)適正な契約履行が可能な経営状況および信用を有する者。

12. 選定基準(書類審査のみ・100 点満点)

※本選定はプレゼンなしの書類審査とするため、提案内容の具体性、実現性および大会価値向上への寄与度を重視する。

① 業務理解度・提案力(20 点)

- ・大会趣旨およびジャパンパラ競技大会の意義への理解
- ・ゴールボール競技特性への理解
- ・映像発信方針
- ・競技魅力を伝える映像演出提案
- ・情報保障およびアクセシビリティへの理解
- ・大会後の映像資産活用提案
- ・大会後の広報、普及活動、SNS 等への映像活用提案

② 映像制作・配信計画(25 点)

- ・撮影体制およびカメラ配置計画
- ・映像制作内容の具体性
- ・実況・解説体制
- ・配信環境および通信計画
- ・配信障害時の対応体制
- ・視聴者拡大に向けた提案
- ・SNS 等を活用した情報発信提案
- ・大会終了後の映像資産化を見据えた制作計画
- ・大会前の認知向上、集客促進につながる PR 映像制作および展開提案

③ 競技特性理解・情報保障対応(25 点)

- ・ゴールボール競技特性への理解
- ・静寂環境確保への配慮
- ・音声情報提供への理解
- ・多様な観戦者への配慮
- ・アクセシブルな情報提供方法
- ・安全管理および競技環境への配慮

④ 会社能力・同種業務実績(10 点)

- ・スポーツ大会配信実績
- ・パラスポーツ大会配信実績
- ・ゴールボール関連実績
- ・公共事業等における映像制作実績

⑤ 価格(20 点)

- ・上限 700 万円(税込)
- ・最低価格提示者を基準とし比例配分

※仕様未達、記載不足等がある場合は減点対象とする。

13. 提出方法

(1)提出書類

①企画提案書

【提出形式】

- ・A4 横向き・20 ページ以内(表紙・目次除く)
- ・単一 PDF ファイルで提出
- ・文字サイズ:原則 10pt 以上
- ・過度な装飾・視覚効果は禁止(判読性重視)

【提案書共通構成】

第 1 章:業務理解度および基本方針

- ・ジャパンパラ競技大会の社会的意義
- ・ゴールボール競技理解
- ・配信コンセプト
- ・大会価値向上に向けた基本コンセプト

第 2 章:撮影・映像制作計画

- ・使用機材構成
- ・カメラ配置図
- ・配信システム構成図
- ・回線構成図
- ・音声制作方針
- ・アクセシビリティ対応

第3章:ウェブ配信計画

- ・配信システム
- ・通信回線計画
- ・障害対応体制
- ・視聴促進施策
- ・大会当日の運営体制
- ・担当者配置計画

第4章:情報保障・アクセシビリティ対応

- ・音声情報提供方法
- ・字幕等の対応提案
- ・多様な観戦者への配慮

第5章:大会後活用・実績

- ・映像資産活用提案
- ・過去5年以内の実績(最大3件)
 - 大会名
 - 規模
 - 担当業務範囲
- ・パラスポーツまたはゴールボール関連実績

② 見積書(上限価格の範囲内とする)

「3. 業務内容」を満たしていない項目がある場合は、該当箇所及び追加費用を明記すること。

③ その他

- ・捺印不要
- ・見積書は指定 Excel にて提出
- ・その他書類は電子ファイルにて提出

(2)提出期限

2026年10月19日(月)17時

(3)質問期限

2026年10月9日(金)17時

質問及び回答は、質問者が特定されない形式で共有する場合がある。

(4)提出・質問先

公益財団法人日本パラスポーツ協会 企画広報部 ジャパンパラ運営事務局 担当:小島、原、加納

E-mail:taikai-jpsa@parasports.or.jp

件名:【入札】2027JPGB 撮影配信 または 【質問】2027JPGB 撮影配信

9. 選定結果

- | | | |
|-----|-----------|---------------------|
| (1) | 入札結果通知予定日 | 2026 年 10 月下旬頃を予定 |
| (2) | 通知の方法 | 入札者へメールにて落札の有無を通知する |